

2024年8月14日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ
 代表者名 代表取締役会長 間下 直晃
 (コード番号: 3681 東証プライム)
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝
 (TEL. 03-6625-5011)

**特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩し、
 業績予想と実績との差異、並びに業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2024年12月期中間期決算において、特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行い、2024年2月14日公表の2024年12月期中間期の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたとともに、通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩し

V-CUBE ミーティングは汎用ウェブ会議領域の主力製品として長期に渡って当社の事業を牽引してまいりましたが、2017年の戦略変更により Zoom の販売の開始と経営資源をイベント DX 事業、テレキューブ等のサードプレイス DX 事業、映像技術の SDK 提供等に振り向け、同製品は長期的なサンセット（サービス終了）と Zoom への入替を図ってまいりました。この戦略に基づき、低下する同製品の収益性の傾向を踏まえ、これまで関連するソフトウェア資産の一部を減損してまいりましたが、同製品のサービス提供を2025年3月31日に終了することを決定し、これに伴い減損処理を行うことといたしました。

また、エンタープライズ DX 事業の一部であり、災害等の緊急対策ソリューションとプラント点検等のフィールドワーク支援ソリューションの専門領域に特化した DX 支援を展開するプロフェッショナルワーク事業を2024年6月30日に譲渡いたしました。譲渡対象外となったソフトウェアについて、その転用可能性の検討結果を踏まえて減損処理を行うことといたしました。

以上により、ソフトウェアの減損損失として165百万円を計上いたしました。

併せて、2024年12月期中間期の業績及び下記「3. 業績予想の修正」を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性について精査した結果、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額179百万円を計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2024年12月期中間期の連結業績予想と実績との差異
 (2024年1月1日～2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	5,600	800	320	280
実績値 (B)	5,619	824	229	191
増減額 (B-A)	19	24	△91	△89
増減率 (%)	0.3	3.0	△28.4	△31.8
(参考) 前期実績 (2023年12月期中間期)	5,751	794	117	91

	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益		
前回発表予想 (A)	200	8円24銭		
実績値 (B)	△212	△8円52銭		
増減額 (B-A)	—			
増減率 (%)	—			
(参考) 前期実績 (2023年12月期中間期)	4	0円18銭		

(2) 差異の理由

売上高は各事業で進捗の差異があるものの、連結では概ね業績予想通りに進捗いたしました。

営業利益は、急激に進行した円安による海外製品仕入価格への影響、米国子会社 TEN Events, Inc. で大型案件の下期への期ずれ発生により、業績予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、「1. 特別損失 (減損損失) の計上及び繰延税金資産の取り崩し」に記載の減損損失等により、業績予想との間に大幅な差異が生じました。

3. 業績予想の修正

(1) 2024年12月期通期の連結業績予想の修正

(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	11,500	1,600	500	400
今回修正予想 (B)	11,400	1,450	300	200
増減額 (B-A)	△100	△150	△200	△200
増減率 (%)	△0.9	△9.4	△40.0	△50.0
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	11,084	1,289	△156	△275
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益		
前回発表予想 (A)	300	12円36銭		
今回修正予想 (B)	100	4円00銭		
増減額 (B-A)	△200			
増減率 (%)	△66.6			
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	△5,623	△231円68銭		

(2) 差異の理由

エンタープライズDX事業において、2024年6月30日付のプロフェッショナルワーク事業の譲渡により、下期計画分の売上高及び営業利益が減少いたします。また、売上高については、サードプレイスDX事業の期初想定以上の進捗等によりプロフェッショナルワーク事業の譲渡による減収分を一定程度補う見込みであり、営業利益については、円安による海外製品仕入への影響等を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、中間期においては純損失を計上する結果となり

ましたが、下期に特別利益が発生する可能性がある事象が見込まれており、この可能性を踏まえて通期の連結業績予想においては純利益となることを見込んでおります。

以 上